

各 位



平成18年10月20日

会 社 名 兼松日産農林株式会社
代表者名 取締役社長 青柳一彦
(コード番号 7961 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 田中昭浩
(TEL. 03 - 3265 - 8231)

平成19年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月19日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 19年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|-------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 6,800 | 70 | 20 |
| 今回修正予想(B) | 6,100 | 9 | 21 |
| 増減額(B - A) | 700 | 79 | 41 |
| 増減率 (%) | 10.3 | - | - |
| (ご参考) 前期実績(平成18年 3月中間期) | 9,020 | 39 | 20 |

2. 19年 3月期中間連結業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|-------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 7,200 | 80 | 30 |
| 今回修正予想(B) | 6,600 | 18 | 1 |
| 増減額(B - A) | 600 | 98 | 29 |
| 増減率 (%) | 8.3 | - | 96.7 |
| (ご参考) 前期実績(平成18年 3月中間期) | 9,447 | 55 | 33 |

3. 19年 3月期通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 13,600 | 150 | 50 |
| 今回修正予想(B) | 12,500 | 20 | 20 |
| 増減額(B - A) | 1,100 | 130 | 70 |
| 増減率 (%) | 8.1 | 86.7 | - |
| (ご参考) 前期実績(平成18年 3月期) | 16,067 | 112 | 114 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 0円 48 銭

4. 19年 3月期連結通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 14,500 | 180 | 70 |
| 今回修正予想(B) | 13,300 | 20 | 10 |
| 増減額(B - A) | 1,200 | 160 | 60 |
| 増減率 (%) | 8.3 | 88.9 | 85.7 |
| (ご参考) 前期実績(平成18年 3月期) | 16,957 | 75 | 136 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 0円 24 銭

5. 理 由

当中間期は、新設住宅着工戸数は底堅く推移しましたが、原材料価格上昇および販売競争激化の厳しい状況は継続しております。

このような状況の中、鋼材、木材等の原材料価格高騰を販売価格に転嫁しきれなかったことをはじめ、ジオテックでは地盤改良子会社の本格稼働の遅れにより費用が先行したこと、木材・住建では木材加工設備の新設、更新時の生産体制構築に時間を要したため初期償却をカバーしきれなかったこと等から、当社の業績は前回発表数値を下回る見込みであり、業績予想を修正いたします。

なお、上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上